

令和元年度

事業報告書

平成31年 4月 1日から

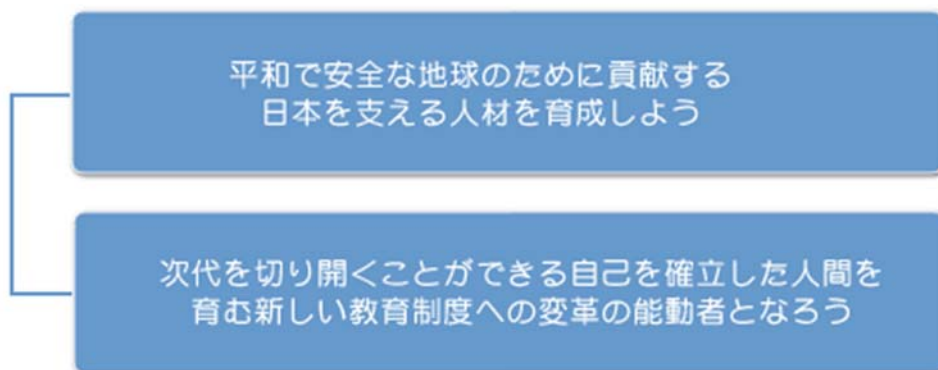
令和 2年 3月31日まで

学校法人 八洲学園

1. 法人の概要

(1) 学園のミッション

八洲学園では2つのミッション ステートメントを掲げております。



(2) 学校法人の沿革

- 1948年 奈良県においてヤシマ裁縫学院として奈良県知事の認可により創立。
- 1951年 私立学校法施行により、学校法人八洲学園を設立。ヤシマ文化学園並びに天理経理学校を併設する。
- 1952年 大阪市東区（現中央区）において大阪経理専修学校を設立。
- 1954年 大阪経理専修学校を玉造経理専門学校と改称。
- 1966年 玉造経理専門学校の発展に伴い通学の便をはかり、阪和線堺市鳳地区に鳳経理専門学校を設立。
- 1969年 大阪市天王寺区に玉造タイピスト学校を設立。
- 1976年 玉造経理専門学校、鳳経理専門学校、天理経理専門学校、ヤシマ文化学園が専修学校認可を受ける。
- 1977年 鳳経理専門学校高等課程が技能連携指定校（文部大臣認可）とし卒業生に高校卒業資格が与えられる。
- 1978年 鳳経理専門学校専門課程は産業能率短期大学との提携により通信制を併学し、短大卒業資格を得る。
- 1979年 鳳経理専門学校高等課程を分離し、鳳経理高等専修学校の設立認可をうける。
- 1985年 鳳経理高等専修学校の卒業生に、文部大臣より大学入学資格が与えられる。
- 1986年 玉造経理専門学校新校舎完成。鳳経理専門学校とともに校名を、ヤシマ情報経理専門学校と改称。
- 1992年 ヤシマ情報経理専門学校鳳校を廃校し、八洲学園高等学校の設立認可をうける。
- 1994年 ヤシマ情報経理専門学校に高等課程を設置
- 1995年 ヤシマ総合ビジネス専門学校（旧玉造タイピスト学校）をパソコンワープロカレッジ専門学校と改称。
- 1997年 八洲学園高等学校広域の認可を受け、東京本部（新宿区）を設置。
- 1998年 鳳商業高等専修学校を八洲学園高等専修学校と改称。
- 1998年 八洲学園高等学校梅田、渋谷、池袋会場を開設。
- 1999年 八洲学園高等学校上野、横浜、三ノ宮、京都、奈良会場開設。
- 2000年 八洲学園国際高等学校（沖縄）を設置。
- 2000年 八洲学園高等学校東京本部2号館完成。
- 2001年 パソコンワープロカレッジ専門学校内に学園本部を設置。
- 2002年 パソコンワープロカレッジ専門学校とヤシマ情報経理専門学校統合、西日本柔道整復専門学校設置。
- 2004年 八洲学園大学開学。
- 2006年 八洲学園国際高等学校を八洲学園大学国際高等学校に改称。
- 2017年 福岡県那珂川町立福岡女子商業高等学校の移管を受け、福岡女子商業高等学校として設置。
- 2017年 ESA音楽学院専門学校を設置。

(3) 設置する学校（令和2年3月31日現在）

設置学校名	学（校）長名	学校所在地	学校設置認可年月日	男女校種別
八洲学園大学	水戸部 優子	神奈川県横浜市西区桜木町 7-42	平成 15 年 11 月 27 日	男女
八洲学園高等学校	林 周剛	大阪府堺市西区鳳中町 7-225-3	平成 04 年 03 月 31 日	男女
八洲学園大学国際高等学校	中村 成希	沖縄県国頭郡本部町備瀬 1249	平成 12 年 03 月 31 日	男女
八洲学園高等専修学校	谷口 充	大阪府堺市西区鳳中町 4-132	昭和 54 年 04 月 01 日	男女
福岡女子商業高等学校	柴田 晴夫	福岡県那珂川市片縄北 1-4-1	平成 29 年 03 月 09 日	女
ESA 音楽学院専門学校	森上 芳郎	大阪府大阪市天王寺区玉造元町 2-6	平成 29 年 01 月 13 日	男女

(4) 学部・学科・学生等の状況（令和元年5月1日現在）

※大学は正科生のみで科目等履修生は含まない。

学校名	学部・学科等名	入学定員 (人)	入学者数 (人)	収容定員 (人)	在籍者数 (人)	収容率 (%)
八洲学園大学	生涯学習学部 生涯学習学科	入学定員 800 編入学定員 400	※ 38 165	4000	1790	44.8
八洲学園高等学校	通信制課程 (広域) 普通科	—	517	3000	1563	52.1
八洲学園大学国際高等学校	通信制課程 (広域) 普通科)	—	355	5000	1215	24.3
八洲学園高等専修学校	経理高等課程 商業科	40	19	120	55	45.8
福岡女子商業高等学校	全日制課程 商業科	240	98	720	314	43.6
ESA 音楽学院専門学校	文化教養課程 吹奏楽学科 吹奏楽実務学科	40 40	21 1	80 40	31 1	38.8 2.5

(5) 役員概要 (令和2年3月31日現在)

定員数 理事5~7名 実数5名 ・ 監事2~3名 実数2名 4年任期

役員名	職名 担当職名	氏名	常勤 非常勤	就任年月日 (重任年月日)	選任区分	主な現職等
理事	理事長	和田 公人	常勤	平成9年5月29日 (平成29年6月14日)	2号	理事長 (学)早稲田学園理事 (学)文理開成学園理事長
理事		林 周剛	常勤	平成27年4月1日	1号	校長
理事	事業理事	小森 嘉之	非常勤	平成14年9月30日 (平成29年6月14日)	2号	会社役員
理事		吉原 和仁	非常勤	平成15年5月29日 (平成29年6月14日)	2号	会社社長
理事		和田 みゆき	非常勤	平成21年6月14日 (平成29年6月14日)	3号	(学)文理開成学園理事
監事		加藤 卓	非常勤	平成25年6月14日 (平成29年6月14日)		税理士
監事		岡 正俊	非常勤	平成28年4月1日 (平成29年6月14日)		弁護士

(6) 評議員概要 (令和2年3月31日現在)

定員数 11~15名 実数11名 4年任期

氏名	主な現職等	選任区分	備考
林 周剛	八洲学園高等学校校長	1号	兼理事
谷口 充	八洲学園高等専修学校校長	1号	
柴田 晴夫	福岡女子商業高等学校校長	1号	
水戸部 優子	八洲学園大学学長	1号	
中村 成希	八洲学園大学国際高等学校校長	2号	
石渡 知美	八洲学園本部職員	3号	
吉原 和仁	会社社長	4号	兼理事
小森 嘉之	会社役員	4号	兼理事
和田 みゆき	(学)文理開成学園理事	4号	兼理事
松本 真尚	会社役員	5号	
古川 直季	市議員	5号	
和田 公人	理事長 (学)早稲田学園理事 (学)文理開成学園理事長	5号	兼理事

(7) 教職員の概要（令和元年5月1日現在）

		合計	八洲学園大学	八洲学園 高等学校	八洲学園大学 国際高等学校	八洲学園高等 専修学校	福岡女子商業 高等学校	ESA 音楽学院 専門学校
教 員	本 務	113	18	48	12	5	26	4
	非 常 勤	196	59	94	8	6	12	17
職 員	本 務	25	5	14	2	0	2	2
	兼 務	25	7	6	8	2	0	2

2. 事業の概要

(1) 事業の概要

当学校法人を取り巻く環境は、少子化の進行や経済状況の変化等により、厳しい状況にある。このような中、各学校は以下の取り組みを行っている。

【八洲学園大学】

- ・eラーニング・システムの完全移行を実施した。引き続き不具合の改修及び改良を進める。
- ・引き続きウェブを中心とした広報を行い、学生定員の確保に努めた。
(令和元年度の入学者数は前年度比104%)
- ・開学15周年記念として大学ホームページ等にイメージキャラクターを使ったロゴを掲載した。
- ・在学生や卒業生の交流の場を設けた（横浜で開催された図書館総合展での展示への有志参加（11月）、学位記授与式後に交流会を開催（9月））。
- ・八洲学園大学国際高等学校との高大連携事業を進めた（高等学校の特別活動時間数に認定する公開講座の設定、沖縄研修旅行の計画（新型コロナウイルス感染拡大により中止））。
- ・「ソーシャルメディア利用ガイドライン」及び「ゲストスピーカーに関する規程」を制定した。
引き続き健全な大学運営を進める。
- ・平成29年度に受審した公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価にて「改善を要する点」として指摘された事項について、令和2年7月までに改善状況報告書を提出する。

【八洲学園高等学校】

- ・通信制高等学校として、通学型のサポートクラス、通信型の通信クラス、技能連携校、科目履修生、中等部の生徒への教育活動
- ・教育講演会、体験活動など、教育関係者との情報交換や地域の方との交流の場を設け、社会貢献活動

【八洲学園大学国際高等学校】

- ・平成31年度事業計画書で掲げた目標を概ね達成した。
- ・生徒在籍者数が前年より約100名増加した。
- ・教室棟塗装工事、宿舎・食堂棟の空調機器取替工事を行った。

【福岡女子商業高等学校】

- ・本校は、平成29年度より学校法人八洲学園として新たなスタートした。この私学化を契機として、商業教育の特色化を図るとともに、部活動強化に取り組むなど、中学生にとって魅力ある教育活動を展開し、入学生の増加を図る。
- ・第2体育館の新設に伴い、生徒だけにとどまらず、地域、一般に開放し開かれた学校として地域に貢献をする。
- ・今後商業分野で、一層の需要が見込まれるEC（電子商取引）に必要な基礎技能の取得のため、生徒教職員にタブレットを配布し、校舎全館でWi-Fiを整備した。
- ・教職員の技術を高めるために積極的にIT企業との人的交流を図る。
- ・福岡大学と提携し、企業理念や経営理念を取り入れた女子商マルシェの見直しを図り、研究を進める。

【ESA 音楽学院専門学校】

- ・吹奏楽を職業にと考える人達の専門学校として、生徒のリペア技術の習得向上、演奏技術の習得向上を目指した。

(2) 主な事業の目的・計画及び進捗状況

当該年度に実施した事業は以下の通りである。

【八洲学園大学】

①生涯を通して主体的に学びを発信し続ける意欲をもった人材の育成

事項	概要	進捗状況
カリキュラム・ポリシーに基づいた体系的な教育課程の編成	カリキュラム・ポリシーを整備し体系的な教育課程を編成する。	プロジェクトチームを立ち上げカリキュラムマップ等の検討を開始。
ディプロマ・ポリシーに基づいた評価指標の明確化	ディプロマ・ポリシーを整備し評価指標を明確化する。	成績評価基準（GPA 制度等）導入のため学則等を整備（令和2年度施行）。
多様な学習支援	eラーニング・システムを活かした支援や学生支援センターによるきめ細やかな支援を実施する。	令和元年度に「レポートの書き方ハンドブック」（旧「学習のしおり」）を作成（eラーニング・システム上で提供）。

②学生が意欲をもつ学びの場の構築

事項	概要	進捗状況
アドミッション・ポリシーに基づいた学生の受入れ	アドミッション・ポリシーを整備し適切に学生を受け入れる。	(平成30年度～) 募集要項に3つのポリシーを明記。
学生の視点を育成に反映させる取り組み	学生の要望を科目の新設や教授法の開発に反映させる。	全学生対象のハラスメントアンケート実施。学生アンケート実施(～令和2年度)。
学生の成長を促す取り組み	科目の充実等により学生の成長を促す。	「図書館基礎特論」ほか新設。

③時代の要請に応えたeラーニングスタイルの提供

事項	概要	進捗状況
eラーニング・システムの機能を生かした教授法の開発	学生や教職員の意見等を反映しeラーニング・システムの仕様改善を推進する。	新eラーニング・システム「SOBA マナベル」に全面移行。
FDの実施	FDを実施しeラーニングスタイルの教育の能力を高める。	SD・FD 合同研修会「ハラスメント防止」講演、「八洲学園大学のブランディング」ワークショップを予定していたが、コロナウイルス感染症の影響により中止(延期予定)。
SDの実施	SDを実施しeラーニングスタイルの教育や学生支援の能力を高める。	SD・FD 合同研修会「ハラスメント防止」講演、「八洲学園大学のブランディング」ワークショップを予定していたが、コロナウイルス感染症の影響により中止(延期予定)。一部代替として「パワーハラスメントオンライン研修講座」受講(専任教職員対象)。

④生涯学習社会の実現に向けての研究開発の推進

事項	概要	進捗状況
カリキュラムの確認と再構築	生涯学習社会の実現のために求められることを分析しカリキュラムを再構築する。	(平成29年度にカリキュラム・ポリシー改定。)
FDの実施	FDを実施し研究開発を推進する。	SD・FD 合同研修会「ハラスメント防止」講演、「八洲学園大学のブランディング」ワークショップを予定していたが、コロナウイルス感染症の影響により中止(延期予定)。
研究紀要の発行	八洲学園大学紀要を発行し公表する。	JAIRO Cloud 導入。また、データ版の発行のみだった号を冊子化し国立国会図書館等に寄贈。

⑤グローバル化に対応した学習の提供

事項	概要	進捗状況
多様なインターネット環境に対応した学習システムの構築	現行システムの弱点を補う新システムを開発する。	新eラーニング・システム「SOBA マナベル」に全面移行。
公開講座の新設	グローバル化に対応した公開講座を新設する。	「司書対象「英語よみきかせ」のための選書」開講。
科目群の整備	グローバル化に対応した科目群を整備する。	(平成30年度～外国語教育の科目等を検討。)

⑥キャリア形成や就職・転職支援の実施

事項	概要	進捗状況
就職・転職支援の充実	キャリアコーディネーター室による支援を行う。	(平成29年度～正科生に特化した支援を開始。)
科目群の整備	キャリア教育科目を整備する。	(平成29年度～キャリア教育担当の専任教員を採用。)
公開講座の新設	キャリア形成に役立つ公開講座を新設する。	防災士養成講座開講、TOEIC 対策講座企画(未開講)。

⑦広く社会や地域に貢献

事項	概要	進捗状況
神奈川県や横浜市との連携	神奈川県や横浜市主催イベント等に参加し地域に貢献する。	みなとみないかもめ School 開講。「にしくらぶ」は災害等の影響により中止。
各地域での社会貢献	公開講座をeラーニングで提供し社会に貢献する。	新eラーニング・システム「SOBAe-college」に全面移行。 防災士養成講座開講(来校型)。
大学施設・整備の開放	大学施設・整備を一般に開放し地域に貢献する。	(平成23年度～空き教室の貸出事業。) (平成25年度～附属図書館を一般開放。)

・施設・設備の整備計画

<p>令和元年度は、計画に基づき給水設備不良箇所改修工事、及び非常用放送設備交換工事を行った。その他、緊急対応として証明安定器交換工事(7階)、スピーカー交換・設置工事(1階、8階、エレベーター)、水栓交換工事(1階)、及びごみ置き場デジタルロック交換工事を行った。</p> <p>横浜ビルの老朽化(築31年)に伴い、建物外壁工事、空調設備の更新工事、照明器具LED化工事等の必要性が指摘されているが、引き続き支出入のバランスを見つつ緊急性の高いものから対応していく。</p>
--

【八洲学園高等学校】

・主な事業の目的・計画及び進捗状況

事項	概要	進捗状況
サポートクラス	八洲学園高等学校全施設で実施	平成 24 年度 4 月より運営開始。
八洲学園中等部（フリースクール）	不登校傾向の中学生が、中学校に通学できるように支援するフリースクールの運営	平成 26 年度 4 月より運営開始。
文科省推進事業委託 ※多様な学習を支援する高等学校の推進事業	文科省推進事業である多様な学習を支援する高等学校の推進事業委託を受け、支援を要する生徒の就労支援に関する取り組みを行った	平成 29 年 6 月～

・施設・設備の整備計画

事項	事業規模等	事業費	財源	実施時期
大阪中央校エレベーター工事、エアコン工事	建物全体	R1 決算書に記載	R1 決算書に記載	令和元年 8 月～11 月

【八洲学園大学国際高等学校】

①施設・設備の整備計画

平成 12 年の開校から稼働し補修費のかさむ学校設備について更新を進めており、宿舍棟・食堂棟のエアコンを更新した（平成 28 年度からの継続事業）

②授業料変更

なし

③卒業生数について

前期卒業 50 名、後期卒業 349 名 計 399 名

④学生生徒の就職、進学状況について

高等教育機関進学だけでなく、海外留学やバレエ界での活躍など進路の幅が広がっている

⑤教職員採用・退職計画

「沖縄県私立高等学校通信制課程の認可に係る審査基準（平成 29 年度改訂）」に対応した教職員配置とするため、入学者増に対応して常勤教員の増員に努めた。

【八洲学園高等専修学校】

・主な事業の目的・計画及び進捗状況

事項	概要	進捗状況
学校関係者評価	生徒教職員以外の大学・地域・進路先管理者による評価	11月に実施
第14回全国専攻科研究集会	事務局として運営・支援及び保護者の参加・発表	12月7日・8日に開催
関係学会への参加・発表・および文科省委託事業への協力	特殊教育学会でのシンポジスト参加等 文科省委託事業連携協議会委員参加	10月・11月の学会参加等

・施設・設備の整備計画

事項	事業規模等	事業費	財源	実施時期
耐震診断		別途	学校予算及び寄付	10月

・授業料変更等

変更なし

・学生生徒の就職・進学状況

一人ひとりきめ細かい指導により全員の進路が確定

・教職員採用・退職

事務職員1名補充。非常勤講師1名退職

・今後の課題

耐震設計については年度ごとに実施していく方針である

【福岡女子商業高等学校】

・主な事業の目的・計画及び進捗状況

事項	概要	進捗状況
ICTの活用の深化 (授業の質の向上)	<ul style="list-style-type: none"> ・初年度は、教職員と生徒全員にタブレットを貸与し、機器の取り扱いに習熟させた。また、調べ学習や語学学習などに活用し、ICTの有用性を理解させた。今後は、より高度な活用を研究し、ICT活用技能はもとより、最終目標である電子商取引技能を習得させるなど、商業教育の差別化、特色化を図り入学生の増加を図る。 ・平成30年度、体育館にWi-Fi設備を整備し校内どこでも利用できる状況になった。特に体育の授業では実技の様子をビデオに撮影し、個別指導に活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間毎年10月に「ICT活用公開授業」を実施、各活用事例を基に公開授業を実施し、近隣の中・高の先生方に昨年から一歩進んだ活用方法を参観してもらった。 ・オンライン教材(スタディーサプリ)を全クラスに導入し、授業強化と家庭学習の充実のため学習全般に利用した。

【福岡女子商業高等学校】

・主な事業の目的・計画及び進捗状況

事項	概要	進捗状況
特進コースの充実	<p>進学希望の生徒の増加に伴い、国公立大学及び地元難関私立大学への進学を目指すコースを新設し、推薦試験以外に一般入試による進学ができる指導体制を確立している。</p> <p>これにより、商業の強みを生かしながら、進学・就職の両道を目指せる学校として入学生の増加を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度、特進コース2年目となり、4年制大学見学・体験を6回実施した。 他校特進クラスとの合同授業を実施した。
英語教育の充実	<p>国際的に活躍する人材を育成するため、ビジネス英語の充実を図る</p>	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度の修学旅行は3コース選択制で実施 平成30年度の2コースにオーストラリアパースのホームステイを加えた。 ①国内 福島イングリッシュビレッジ 65名 ②海外 フィリピン セブ島 20名 ③海外 オーストラリア パース 29名 令和2年度も引き続き選択制3コース修学旅行（語学研修）を実施する。海外での現地の方々との交流や様々なプログラムが好評だったことから海外希望者を増やす。
福大との連携	<ul style="list-style-type: none"> 企業理念や経営理念を取り入れた女子商マルシェの見直しを福岡大学商学部との連携を図り研究する。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間6回の福岡大学生による特別授業を実施した。その成果を12月に行われた商業オリンピックで発表した。
ビジネスビューティークースの新設	<ul style="list-style-type: none"> 昨今の美に関する需要の拡大に対応して、「美」に関する学習を通してビジネスに関する課題を発見し、将来起業できる力を養うことを目的に新たに4つ目のコースを新設する。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度の3年生課題研究において、ビジネスビューティークースを試行した。 ネイルの成果を掲示したり、ハンドマッサージを介護施設で実施したりした。また、ネイル検定により2名が資格を得た。 令和元年度内に専門が学校との連携も検討した。

・施設・設備の整備計画

<ul style="list-style-type: none"> 本校は伝統的に部活動が盛んで、常に県大会上位を占める活躍をしている部活動がある。特にハンドボール部は過去全国大会に出場した経験もあり、今年度もベスト4に入る活躍を見せている。 また、全日本チームの主将を務める永田選手は本校の出身者である。 平成30年度第2体育館の新設に着工し、令和元年6月に完成。完成後には本校生徒利用にとどまらず、近隣の児童・生徒を中心に一般にも開放し開かれた学校として地域に貢献している。

【ESA 音楽学院専門学校】

・主な事業の目的・計画及び進捗状況

目的・計画	進捗状況
楽器店及びリペア工房への就職、演奏家の育成、音楽隊への加入、音楽留学を目指す	本年度卒業生等の進路は <ul style="list-style-type: none"> ・楽器店 ・音楽隊合格 ・音楽留学（フランス）の為休学中 ・一般職 ・ESA科目履修生となった。

・施設・設備の整備計画

なし

(3) 施設等の状況

現有施設設備の所在地等の説明

主な施設設備の状況は次の通りである。

ア) 土地

所在地	部門	種別	専用面積	取得価額
神奈川県横浜市西区桜木町	八洲学園大学	校舎敷地	838.40 m ²	658,288 千円
東京都新宿区新宿	八洲学園大学	校舎敷地	162.00 m ²	300,552 千円
大阪府堺市西区鳳中町	八洲学園高等学校	校舎敷地	992.00 m ²	105,000 千円
大阪府堺市西区鳳中町	八洲学園高等学校	校舎敷地	327.00 m ²	72,000 千円
大阪府堺市西区鳳中町	八洲学園高等学校	校舎敷地	330.00 m ²	72,000 千円
大阪府堺市西区鳳中町	八洲学園高等学校	校舎敷地	984.00 m ²	96,753 千円
大阪府大阪市中央区玉造	八洲学園高等学校	校舎敷地	290.00 m ²	59,587 千円
沖縄県国頭郡本部町字備瀬礎摩原	八洲学園大学国際高等学校	校舎敷地	21950.00 m ²	172,505 千円
沖縄県国頭郡本部町字備瀬礎摩原	八洲学園大学国際高等学校	その他敷地	1408.00 m ²	8,540 千円
沖縄県国頭郡本部町字備瀬礎摩原	八洲学園大学国際高等学校	その他敷地	724.00 m ²	4,380 千円
沖縄県国頭郡本部町字石川知場塚原	八洲学園大学国際高等学校	その他敷地	7275.00 m ²	28,366 千円
大阪府堺市西区鳳中町四丁	八洲学園高等専修学校	校舎敷地	276.00 m ²	58,500 千円
大阪府堺市西区鳳中町四丁	八洲学園高等専修学校	校舎敷地	836.00 m ²	50,400 千円
大阪府大阪市天王寺区玉造元町	ESA 音楽学院専門学校	校舎敷地	261.93 m ²	47,337 千円
東京都新宿区新宿	法人本部	校舎敷地	134.00 m ²	300,000 千円

イ) 建 物

所在地	部門	施設等	専用面積	帳簿価額
神奈川県横浜市西区桜木町	八洲学園大学	校舎	4662.19 m ²	297,570 千円
東京都新宿区新宿	八洲学園大学	校舎	1112.15 m ²	37,015 千円
大阪府堺市西区鳳中町	八洲学園高等学校	校舎	683.93 m ²	35,074 千円
大阪府堺市西区鳳中町	八洲学園高等学校	校舎	304.98 m ²	11,239 千円
大阪府堺市西区鳳中町	八洲学園高等学校	校舎	1156.97 m ²	69,298 千円
大阪府大阪市中央区玉造	八洲学園高等学校	校舎	1145.17 m ²	124,750 千円
沖縄県国頭郡本部町字備瀬	八洲学園大学国際高等学校	校舎	2993.62 m ²	294,635 千円
大阪府堺市西区鳳中町	八洲学園高等専修学校	校舎	1010.94 m ²	3,740 千円
大阪府大阪市天王寺区玉造元町	E S A 音楽学院専門学校	校舎	907.59 m ²	8,885 千円
福岡県那珂川市	福岡女子商業高等学校	校舎	10741.80 m ²	296,544 千円
東京都新宿区新宿	法人本部	校舎	454.61 m ²	28,543 千円

(4) その他

特に記載すべき事項はありません。

3. 財務の概要

(1) 決算の概要

①貸借対照表の状況

ア) 資 産 現金預金が、前年度に比べ 333,608 千円の増加となった。

イ) 負 債 退職給与引当金は、退職金制度を設けていないため計上はない。

ウ) 基 本 金 第1号基本金は、建設中の体育館が完成したため、建設仮勘定 129,000 千円を建物へ振り替えた。その他、建物 64,878 千円、図書 250 千円を取得し、建物 28,231 千円、敷金 37 千円を除去した。従って、差引 36,860 千円の組入を行った。

②収支計算書の状況

ア) 収入 当年度の事業活動収入は 1,627,408 千円となり、前年度に比べ 67,961 千円減少となった。その主な内容は、学生生徒納付金の減少である。

イ) 支出 当年度の事業活動支出は 1,361,949 千円となり、前年度に比べ 78,612 千円減少となった。その主な内容は、教育活動支出の減少である。

(2) 経年比較

① 貸借対照表

(単位 千円)

科目	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末
固定資産	4,145,207	4,044,511	4,277,553	4,324,504	4,282,378
流動資産	2,719,464	2,968,450	3,312,129	3,504,041	3,808,342
資産の部合計	6,864,671	7,012,961	7,589,682	7,828,545	8,090,720
固定負債	0	0	0	0	0
流動負債	154,836	172,794	233,388	217,443	214,159
負債の部合計	154,836	172,794	233,388	217,443	214,159
基本金	5,060,291	5,018,129	5,286,784	5,472,152	5,509,012
繰越収支差額	1,649,544	1,822,038	2,069,510	2,138,950	2,367,549
純資産の部合計	6,709,835	6,840,167	7,356,294	7,611,102	7,876,561
負債及び純資産の部合	6,864,671	7,012,961	7,589,682	7,828,545	8,090,720

②収支計算書

ア) 資金収支

(単位 千円)

収入の部	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
学生生徒等納付金収入	1,064,282	951,574	1,125,405	1,240,169	1,252,609
手数料収入	29,315	25,450	28,029	28,303	29,251
寄付金収入	163	172	13,742	481	228
補助金収入	137,724	136,518	435,037	342,202	280,739
資産売却収入	0	0	0	0	0
付随事業・収益事業収入	28,736	36,791	40,126	48,924	42,381
受取利息・配当金収入	3,412	3,462	3,241	2,853	2,765
雑収入	28,451	18,653	21,760	29,868	19,436
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	65,472	80,493	101,152	95,237	112,438
その他の収入	957,190	883,153	1,159,050	1,328,394	1,304,747
資金収入調整勘定	△112,084	△112,116	△180,670	△219,366	△197,544
前年度繰越支払資金	2,392,052	2,666,868	2,881,103	3,179,351	3,339,012
収入の部合計	4,594,713	4,691,018	5,627,975	6,076,416	6,186,062
支出の部	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
人件費支出	543,636	518,344	832,618	787,343	784,211
教育研究経費支出	257,813	213,855	298,009	372,177	315,816
管理経費支出	194,030	253,790	187,521	181,358	178,893
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	0	0	52,380	175,041	64,878
設備関係支出	22,539	1,988	37,625	7,698	250
資産運用支出	0	0	0	0	0
その他の支出	939,318	845,418	1,073,189	1,237,132	1,178,078
資金支出調整勘定	△29,491	△23,480	△32,718	△23,345	△8,685
翌年度繰越支払資金	2,666,868	2,881,103	3,179,351	3,339,012	3,672,621
支出の部合計	4,594,713	4,691,018	5,627,975	6,076,416	6,186,062

イ) 事業活動収支

(単位 千円)

		科目	平成27年度	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年度
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金	1,064,282	951,574	1,125,405	1,240,169	1,252,609
		手数料	29,315	25,450	28,029	28,303	29,251
		寄付金	163	172	12,994	481	228
		経常費等補助金	137,724	135,913	407,252	318,939	280,739
		付随事業収入	9,963	12,129	14,044	21,789	19,414
		雑収入	28,451	18,653	21,760	29,868	19,436
		教育活動収入 計	1,269,898	1,143,891	1,609,484	1,639,549	1,601,677
	支出	人件費	543,636	518,344	832,618	787,343	784,211
		教育研究経費	311,565	265,991	372,797	446,505	395,959
		管理経費	199,493	257,988	192,199	186,025	181,742
徴収不能額等		0	0	0	2737	0	
教育活動支出 計		1,054,694	1,042,323	1,397,614	1,422,610	1,361,912	
教育活動収支差額		215,204	101,568	211,870	216,939	239,765	
教育活動外収支	収入	受取利息・配当金	3,412	3,462	3,241	2,853	2,765
		その他の教育活動外収入	18,772	24,662	26,082	27,134	22,966
		教育活動外収入 計	22,184	28,124	29,323	29,987	25,731
	支出	借入金等利息	0	0	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出 計	0	0	0	0	0
教育活動外収支差額		22,184	28,124	29,323	29,987	25,731	
経常収支差額		237,388	129,692	241,193	246,926	265,496	
特別収支	収入	資産売却差額	0	0	0	0	0
		その他の特別収入	0	642	274,947	25,833	0
		特別収入 計	0	642	274,947	25,833	0
	支出	資産処分差額	7,191	2	12	17,951	37
		その他の特別支出	0	0	0	0	0
		特別支出 計	7,191	2	12	17,951	37
特別収支差額		△7,191	640	274,935	7,882	△37	
基本金組入前当年度収支差額		230,197	130,332	516,128	254,808	265,459	
基本金組入額合計		△22,538	△1,989	△292,949	△188,955	△38,546	
当年度収支差額		207,659	128,343	223,179	65,853	226,913	
前年度繰越収支差額		1,411,050	1,649,544	1,822,038	2,069,510	2,138,950	
基本金取崩額		30,835	44,151	24,293	3,587	1,686	
翌年度繰越収支差額		1,649,544	1,822,038	2,069,510	2,138,950	2,367,549	
(参考)							
事業活動収入 計		1,292,083	1,172,657	1,913,754	1,695,369	1,627,408	
事業活動支出 計		1,061,886	1,042,325	1,397,626	1,440,561	1,361,949	

(3) 主な財務比率比較

(単位 %)

比率名	算式	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	42.0	44.2	50.8	47.1	48.1
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	24.1	22.7	22.7	26.7	24.3
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	15.4	22.0	11.7	11.1	11.1
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒納付金}}{\text{経常収入}}$	82.4	81.2	68.6	74.2	76.9
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	17.8	11.1	26.9	15.0	16.3
基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}-\text{基本金組入額}}$	83.6	89.0	86.2	95.6	85.7
経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	18.3	11.1	14.7	14.7	16.3
教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	16.9	8.9	13.1	13.2	14.9
純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{負債}+\text{純資産}}$	97.7	97.5	96.9	97.2	97.3
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	1756.3	1717.9	1419.1	1611.4	1778.2
総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	2.2	2.5	3.1	2.8	2.7
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	100.0	100.0	99.8	100.0	100.0

(4) その他

①有価証券の状況

区分	銘柄	数量	帳簿価額	時価	表示科目
株式	(株)神戸製鋼所	500	277,043 円	167,000 円	有価証券
株式	南海電気鉄道(株)	6,200	4,850,460 円	15,252,000 円	有価証券
計		6,700	5,127,503 円	15,419,000 円	

②寄付金の状況

寄付金の種類	寄付者	金額	摘要
一般寄付金	卒業生他	228,428 円	八洲学園大学

③収益事業の状況

駐車場業及び不動産賃貸業を行っており、その状況は次のとおりである。

(単位 千円)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
流動資産	8,769	8,635	8,083	8,158	8,244
固定資産	189,634	193,994	188,987	184,118	179,317
資産合計	198,403	202,629	197,070	192,276	187,561
流動負債	4,053	5,588	8,155	7,119	6,532
固定負債	0	0	0	0	0
負債合計	4,053	5,588	8,155	7,119	6,532
純資産合計	194,350	197,041	188,915	185,157	181,029
負債・純資産合計	198,403	202,629	197,070	192,276	187,561
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
売上高	40,541	45,790	47,379	51,520	49,899
販売管理費	43,084	50,519	51,737	53,595	51,651
営業外損益	0	0	0	0	0
当期純損益	△2,543	△4,729	△4,358	△2,075	△1,752

④関連当事者等の取引の状況

ア) 関連当事者 イ参照

イ) 出資会社 (学園が2分の1以上の出資をしている会社)

会社等の名称	事業内容	資本金等	出資割合	取引の内容	人事上の関係
株式会社ドードス	学習塾	10 百万円	100%	—	役員 1 名 取締役を兼務
株式会社SOBAエデュケーション	情報サービス	60 百万円	50%	支払額 2,171 万円	役員 1 名 取締役を兼務
学校運営機構株式会社	経営コンサルティング	31 百万円	96.7%	受入額 371 万円 支払額 3,077 万円 貸付金 20,700 万円	役員 1 名 取締役を兼務
株式会社イノーヴァインタラクティブ	情報サービス	30 百万円	100%	受入額 125 万円 支払額 2,063 万円 貸付金 330 万円	役員 1 名 取締役を兼務

以 上